

水稻用除草剤

# ホットコンビ®

フロアブル ジャンボ® 200粒剤



新登場!



雑草から稲を守る!!

雑草にコンビが効く!!

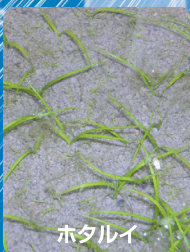
雑草イネ<sup>(※)</sup>防除にも!

他の有効な防除方法と組み合わせて使用してください。  
※雑草害をもたらす栽培目的以外のイネ

移植前処理	フロアブル (300ml/10a)
移植後処理	フロアブル・ジャンボ・200粒剤
田植同時処理	フロアブル
無人ヘリ・ドローン処理	フロアブル・200粒剤
水口施用	フロアブル・200粒剤
投げ込み散布	ジャンボ



ノビエ



ホタルイ



コナギ



マツバイ



ミスガヤツリ



<写真はイメージです>

2つの成分の相乗効果！ 幅広い草種、SU抵抗性雑草にも有効！



NICHINO

日本農薬株式会社

# ホットコンビ®フロアブル ジャンボ® 200粒剤



## 水稲用除草剤

有効成分 テニクロール……(フロアブル:4.0%) (ジャンボ:10.0%) (200粒剤:10.0%) [除草剤分類 15]  
ベンゾピシクロン…(フロアブル:4.0%) (ジャンボ:10.0%) (200粒剤:10.0%) [除草剤分類 27]

安全性 普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

## 適用雑草および使用方法

<2023年6月現在の登録内容>

### フロアブル

農林水産省登録第23199号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	テニクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ	移植直後～ノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで	500mℓ /10a	2回 以内	原液湛水散布、水口施用 又は無人航空機 による滴下	2回以内	3回以内
		移植時	300～500mℓ /10a		田植同時散布機 で施用		
		植代後～移植前7日または 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで	300mℓ /10a		原液湛水散布、水口施用 又は無人航空機 による滴下		

### ジャンボ®

農林水産省登録第24305号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	テニクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草及び、 マツバイ、ホタルイ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ	移植直後～ノビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装(パック) 10個 (200g)/10a	1回	水田に 小包装(パック) のまま投げ入れる	2回以内	3回以内

### 200粒剤

農林水産省登録第24304号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	テニクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草及び、 マツバイ、ホタルイ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ	移植直後～ノビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで	200g/10a	1回	湛水散布、湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布	2回以内	3回以内

### 注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、フロアブルの使用量500mℓ/10aの場合はノビエ2葉期までに時期を失しないように散布する。また、使用量300mℓ/10aの場合は、ノビエ1.5葉期までに時期を失しないように散布し、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。ジャンボ200粒剤の場合は、ノビエの2葉期までに時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意する(下表参照)。
- 雑草をもたらず栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前に有効(フロアブル)、発生初期(稲葉抽出期)までが有効(ジャンボ200粒剤)なので、散布適期を失しないように散布する。また、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業は正しいに行う(フロアブル)。苗の植付けが均一となるように、整地、代かきは正しいに行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除く(ジャンボ200粒剤)。また未熟有機物を施用した場合は、特に正しいに行う。
- 散布に当たっては、フロアブルは、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全体にゆきわたるように散布する。ジャンボ200粒剤は、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態で投下する。また散布後少なくとも3～4日間は水深3～5cmの湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意する(フロアブル・200粒剤)。
- 葉類や表層は雑草の多発している水田では、拡散が不十分となり効果が劣る可能性があるため使用をさける(ジャンボ200粒剤)。
- 以下の水田では葉害(フロアブル)、初期生育抑制(ジャンボ200粒剤)を生じるおそれがあるので使用をさける。
  - ①砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)。
  - ②軟弱徒長苗を移植した水田。
  - ③極端な浅植の水田及び補え付け不良で根が田面に露出している水田。
- 無人航空機で処理する場合は、次の注意を守る。
  - ①処理は使用機種の使用基準に従って実施する。

- ②滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しない(フロアブル)。
- ③散布機に適合した散布装置を使用する(200粒剤)。
- ④粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラ(スピンナ)の回転数を低速に調整する(200粒剤)。
- ⑤作業中、薬液が濡れないように装置の十分な点検を行う(フロアブル)。
- ⑥散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないように散布区域の選定に注意し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布する(200粒剤)。
- ⑦隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合には無人航空機による本剤の滴下は行わない(フロアブル)。
- ⑧水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- ⑨薬剤処理に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- ⑩処理に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しない。
- 湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布する(200粒剤)。
- いくさなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。
- いくさの栽培予定水田では本剤を使用しない。
- 散布後の田面水を他作物に灌水しない。
- 眼に対してフロアブルは弱い刺激性、ジャンボ200粒剤は刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける(ジャンボは水溶性フィルムが破袋した場合)。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす(ジャンボは水溶性フィルムが破袋した場合200粒剤)。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長スボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換する(200粒剤)。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する(200粒剤)。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する(ジャンボは水溶性フィルムが破袋した場合)。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 無人航空機による処理で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する(フロアブル200粒剤)。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない(フロアブル200粒剤)。また、空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理する。

●使用前にはラベルをよく読んでください。

●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

レイミーの農薬チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



NICHINO  
日本農薬株式会社

東京都中央区  
京橋1丁目  
19番8号

TEL:0570-09-1177 URL:https://www.nichino.co.jp/

2023年6月作成版(SPA)FJ12306S